

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

「『タクシー』という公共交通機関の立場から、地域社会の持続的発展に貢献します。」
当社は平成22年の会社設立後、菊陽町と周辺市町村にて地域のお客様の「足」となってきました。平成25年には日本初の試みとして全車両のEV(日産リーフ)化を実施。まだ、「SDGs」という言葉が存在しない頃から、サステナブルな社会の実現を真剣に考えてきました。
一方で、急速に変化する社会環境の中で、当社においても更なる多面的な取り組みが必要であると考えます。今後、タクシー業界の先頭に立つような思いで公共交通機関としての立場からSDGs達成に向けての取り組みをおこなっていきます。

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取り組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	電気自動車(BEV)にて運行する全タクシー車両の運行効率を上げ、電力使用量を削減する。	項目	電力使用量削減割合
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		2022年比35%増加	現状2024年比10%削減
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	高齢者向け短時間勤務枠の設定等を通して、年齢を問わない乗務員採用を実施する。	項目	高齢者(65歳以上)の採用人数
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		3名	5名
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	働きやすさと就業継続率向上のため、労働条件や職場環境の改善を推進。	項目	国土交通省の「働きやすい職場認証制度」の認証を取得する。
		現状(2025年)	更新時(3年後)
		認証未取得	一つ星認証取得

・「SDGsに関する重点的な取り組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取り組みを記載してください。なお、取り組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取り組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。前期と同じ取り組みの場合は、現状の数値と下記の前期実績が一致しているかをご確認ください。

<パートナーシップ>

- ・熊本キャブグループ6社のうちの1社として、グループ全体にてBEVやHV等の低公害車の導入推進をおこなうとともに、ワークライフバランスの充実を通じた健康経営に取り組みます。
- ・本社所在地である菊陽町と熊本市から乗合タクシーの運行を受託。地域住民の皆様の移動手段を積極的に提供しています。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取り組み	前期の指標
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	電気自動車(BEV)にて運行する全タクシー車両の運行効率を上げ、電力使用量を削減する。	電力使用量を 2025年時点で、 2022年比10%削減する。
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載) GPSを使用した配車システムを活用し、効率的な配車指令を行うことにより、空車走行距離を削減し、運行効率を改善した。一方で、乗務員の採用数が増加し、タクシー車両の稼働率が上がったことや、菊陽町内に大型の半導体工場が新設されたことによるタクシー需要の増加に伴い、会社全体の総走行距離が増加。結果、電力使用量も35%増加したため、指標には未達成となった。	前期の指標に対する実績 2022年比35%増加
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	前期のSDGsに関する重点的な取り組み 高齢者向け短時間勤務枠の設定等を通して、年齢を問わない乗務員採用を実施する。	前期の指標 2025年までに 高齢者を累計10名採用する。
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載) 各種求人媒体やテレビCM、合同企業説明会などを通して、求人情報を積極的に展開し、一定の反応を得ることはできたものの、採用数目標には未達成となった。	前期の指標に対する実績 累計4名採用
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	前期のSDGsに関する重点的な取り組み 法令を遵守した安全運行を推進し、働きやすさと就業継続率向上を通じて、交通事故率減少を目指す。	前期の指標 有責事故数 2022年比⇒2025年半減
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載) 2024年のハイヤー・タクシー運転者の改善基準告示の内容からさらにゆとりをもたせた労働時間短縮による働きやすさ・就業継続のしやすさ向上の取り組みを実施。また、定期的な社内研修会による安全運転教育を継続的実施。これらの取り組みにより各従業員の安全意識向上が図られ、目標を達成した。	前期の指標に対する実績 2022年比で73%減少。

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取り組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取り組み」と「指標」をそのまま記載してください。
・「取り組みの進捗状況」には、前期の重点的な取り組みの実施状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。
・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。
※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。